



第14次三カ年中期経営計画

2023年5月25日

証券コード：5162

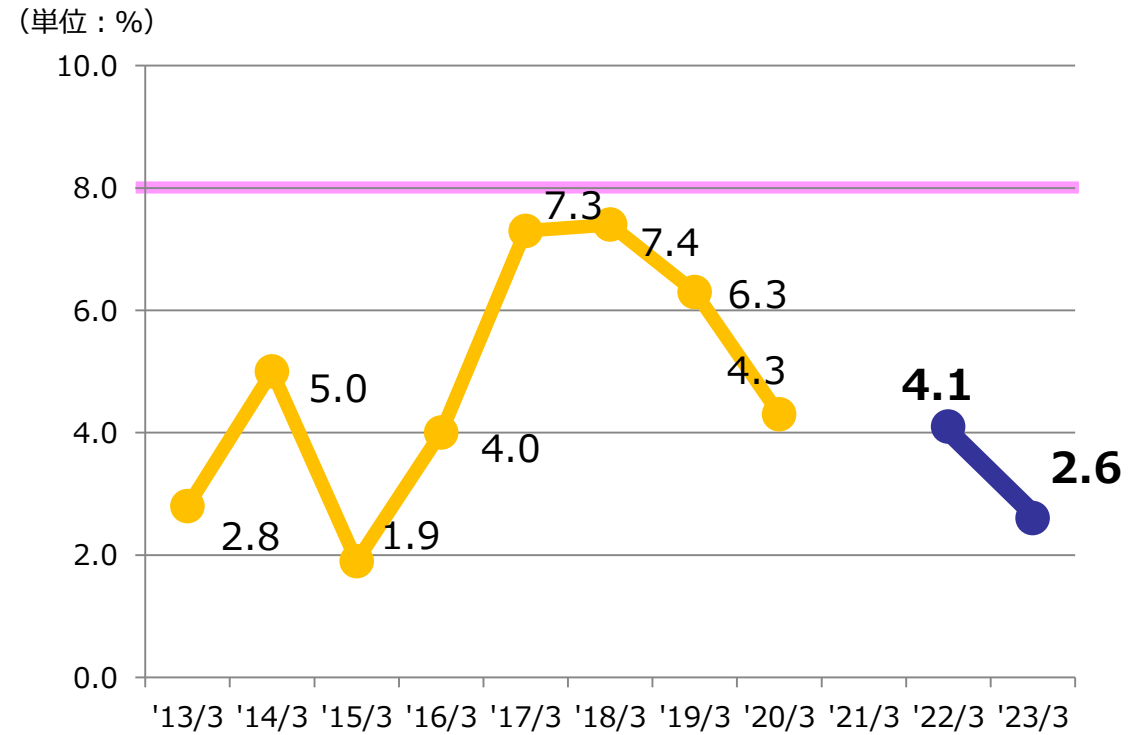
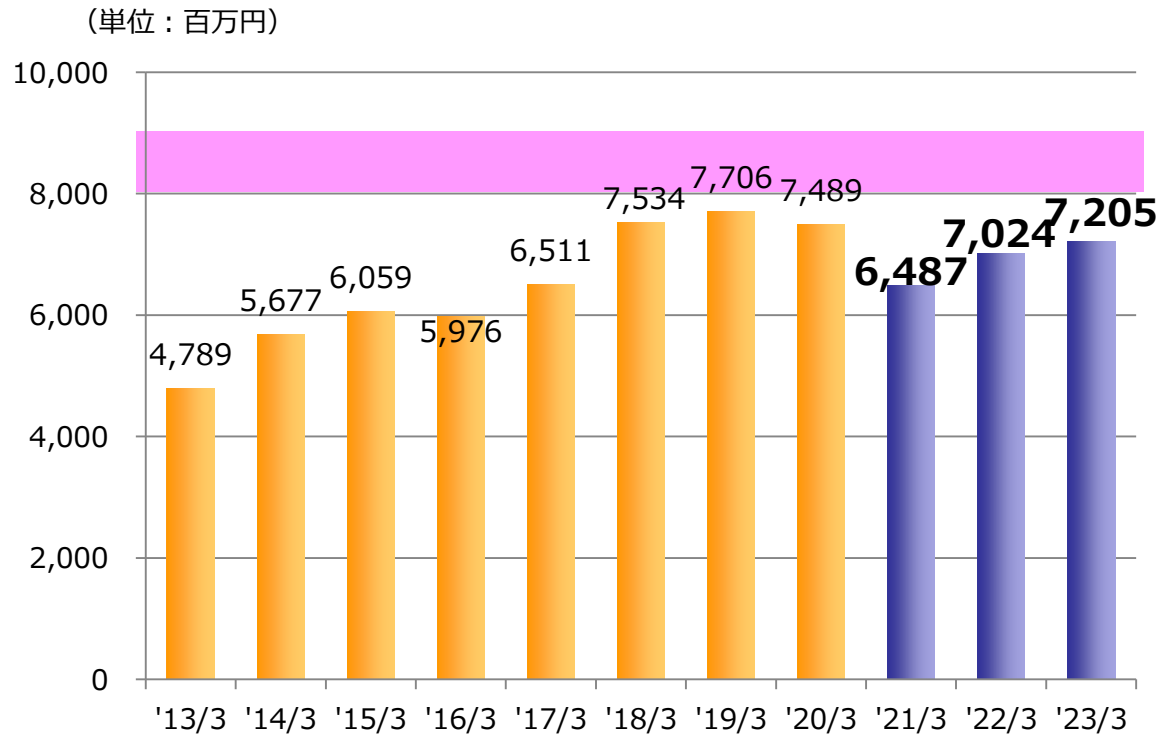
Ⅱ-1. 第14次三か年中期経営計画 – 前中期計画の振り返り

第13次三か年中期経営計画の振り返り

数値目標

2023年3月期連結売上高目標 80~90億円

連結営業利益率目標 8%以上



※2021年3月期は営業損失のため非表示

Ⅱ-2. 第14次三カ年中期経営計画 – 4 事業の振り返り

第13次三カ年中期経営計画 – 4 事業の振り返り

光学事業 2023年3月期目標売上高 40億円 実績 26億円

- ・新型コロナの影響を受け、自動車向けのASA COLOR LEDの売上高が減少したが、2022年前半はグローバルな市場回復で増加傾向となった。
- ・2022年後半から半導体不足等の影響を受けて受注が減少し、中期最終年度で未達となった。

医療・ライフサイエンス事業 2023年3月期目標売上高 15億円 実績 14.8億円

- ・新型コロナの影響を受け、検査・予防等の用途向けの需要が減少したが、2022年3月期後半から回復基調となった。
- ・第13次中期計画以前から取り組んでいた新製品のARチェックバルブの売上が貢献。

機能事業 2023年3月期目標売上高 21億円 実績 24.7億円

- ・新型コロナの影響を受け、自動車向け製品の受注が減少したが、2022年からグローバルな市場回復で増加傾向となった。
- ・卓球ラケット用ラバーの市場回復傾向に加え、顧客の新製品の受注を獲得しさらに増加傾向が続く。

通信事業 2023年3月期目標売上高 12億円 実績 6.3億円

- ・新型コロナの影響を受け、RFIDタグ用ゴム製品の受注が減少、一時期回復の兆しがあるもコロナ前の水準には戻っていない。
- ・開発案件の中止、延期などの影響から実績が計画から乖離したが、新たな案件への取り組みが進行中。

Ⅱ-3. 第14次三カ年中期経営計画 – 中期経営方針

中期経営方針 **魅力を高めて新たな価値を提供しよう**

テーマ **後継・Well-being**

スローガン **「新しいカタチ」に向かって 挑戦**

中期経営戦略 ①事業活動の深化・進化・新化



②スマートファクトリーの実践



③Well-beingを高める



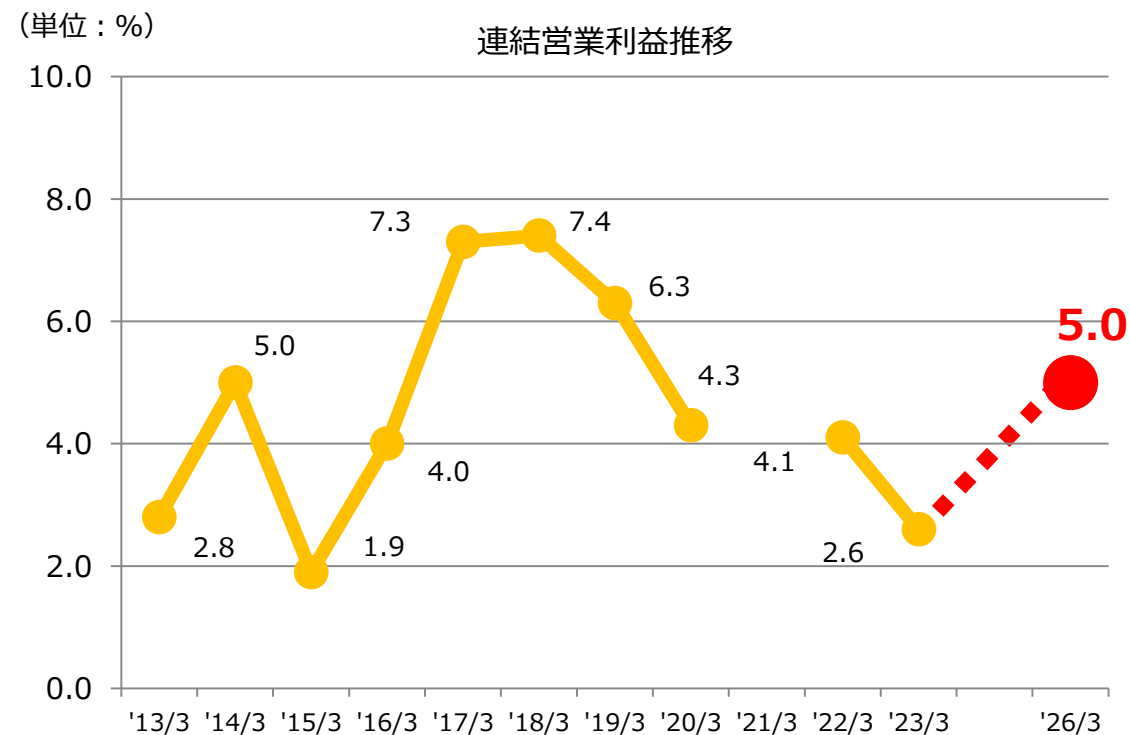
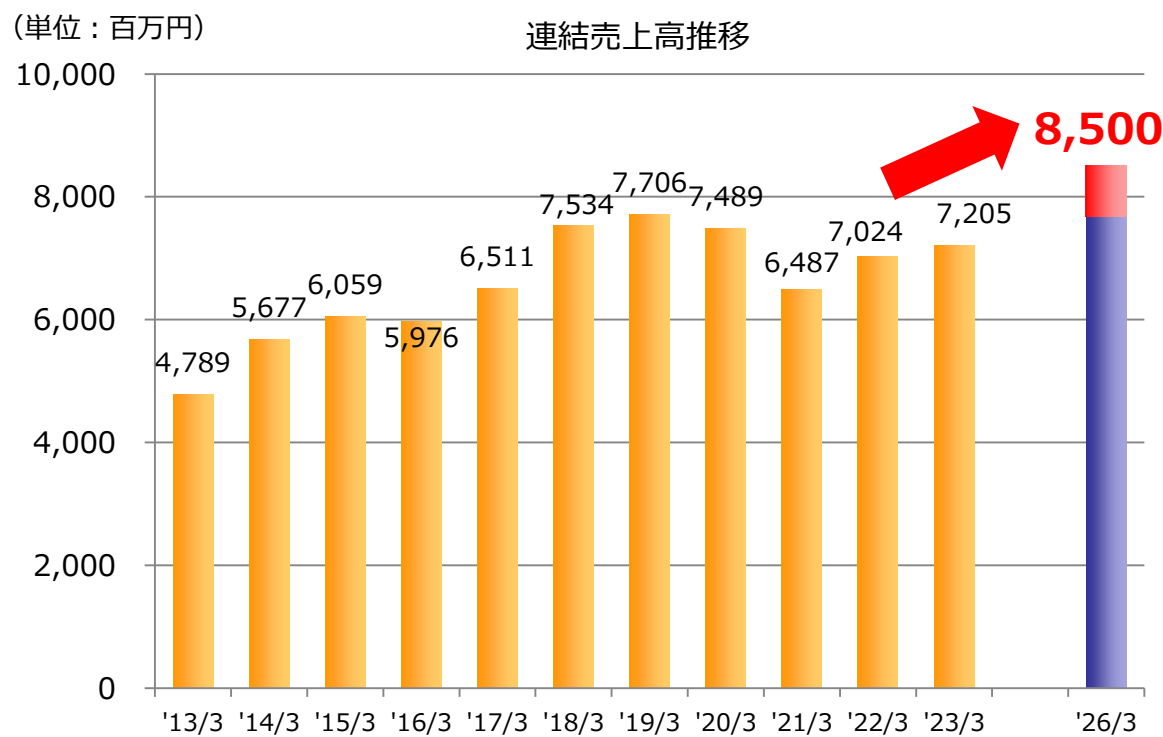
④地域社会貢献



Ⅱ-4. 第14次三カ年中期経営計画 – 中期業績目標

数値目標

2026年3月期連結売上高目標 **85億円以上**
 連結営業利益率目標 **5%以上**



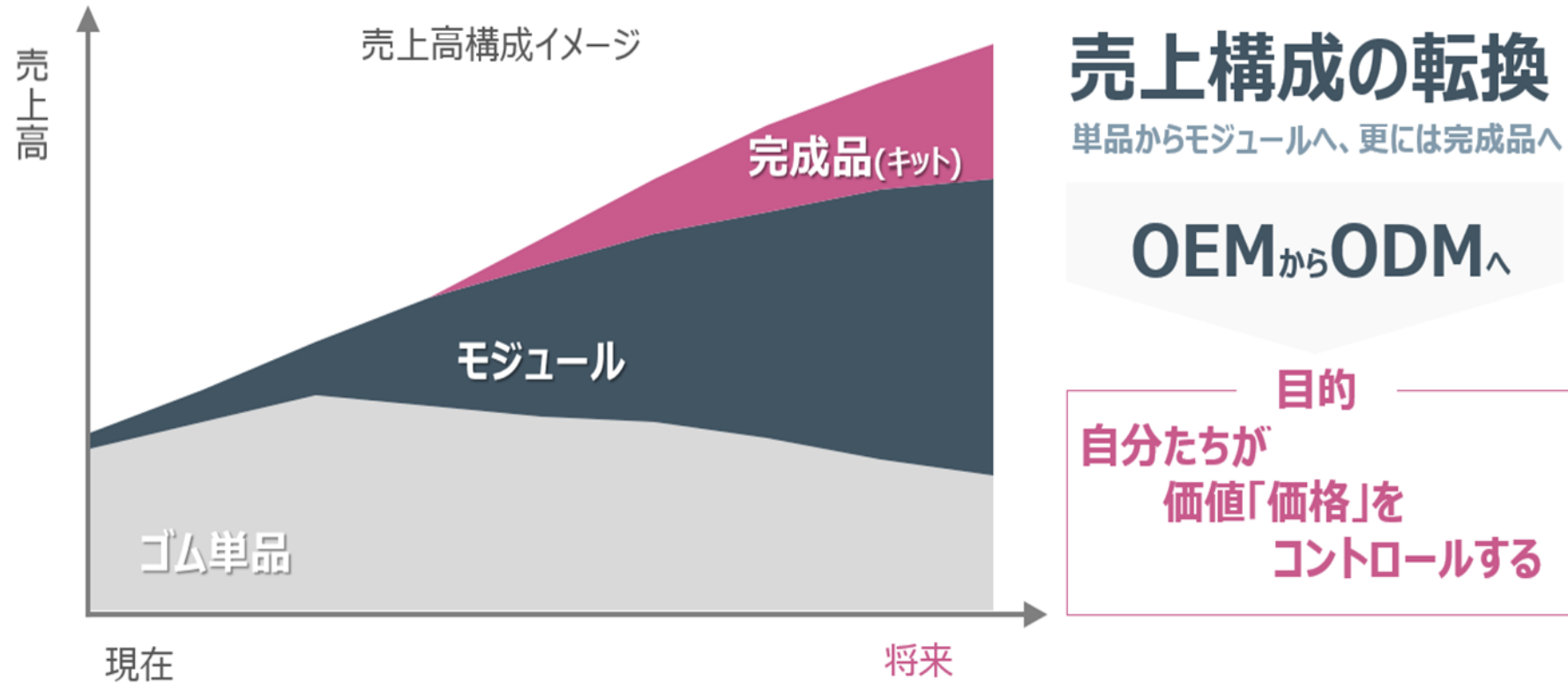
※2021年3月期は営業損失のため非表示

Ⅱ-5. 第14次三か年中期経営計画 – EXとCX



EX: Employee Experience / 従業員体験
CX: Customer Experience / 顧客体験

Ⅱ-6. 第14次三か年中期経営計画 – OEMからODMへ



- 朝日ラバーの独自の技術による付加価値を、ゴム単品の配合・成形からモジュールや完成品を提供できるように進化させることで、「弾性無限」の可能性を製品に表現した新たな価値をもって市場参入機会を増やし、社会に貢献していく。

Ⅱ-7. 第14次三か年中期経営計画 – 光学事業

「再構築と挑戦」 光の可能性を追求した高付加価値向上で市場に貢献する

標準製品の付加価値向上と複合モジュールの開発・展開



【連結売上高】

26億円

30億円

'23/3実績

'26/3目標

Ⅱ-7. 第14次三か年中期経営計画 –医療・ライフサイエンス事業

「第二の柱へ成長させる」 朝日らしさで世界の医療現場と患者のQOL向上に貢献する

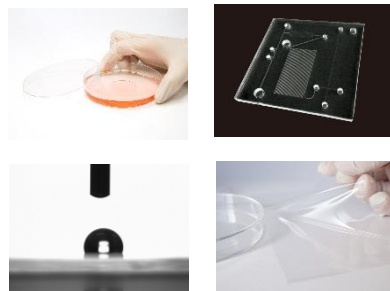
ODM設計・複合デバイスやシステム機器へ挑戦する

診断・治療機器を製造販売する企業を目指す

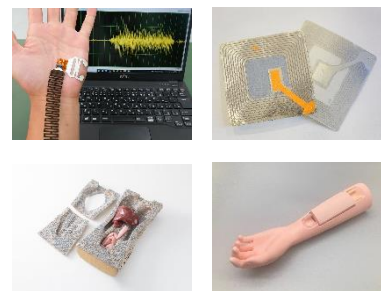
診断治療機器への貢献



診断治療デバイスへの貢献



新事業開拓



【連結売上高】

15億円



'23/3実績

20億円



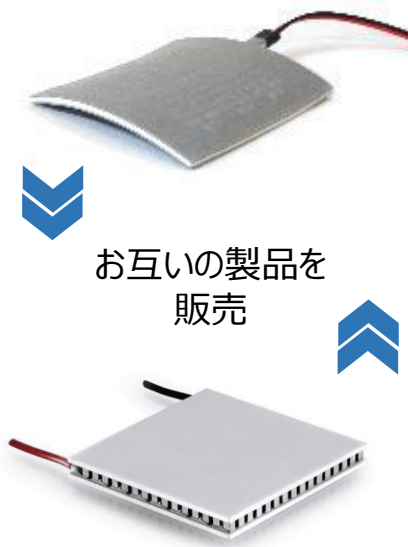
'26/3目標

Ⅱ-7. 第14次三か年中期経営計画 ー機能事業

「新たな柱を創る」 ラストワンマイルを安心・安全につなぐ制御で貢献する

サーモモジュールの開発

フェローテックマテリアルテクノロジーズとの販売連携活動を進める



風力発電

O&M事業化に向けて前進する

O&M : Operation and Maintenance
施設や設備の完工後に、保守作業を行う



【連結売上高】

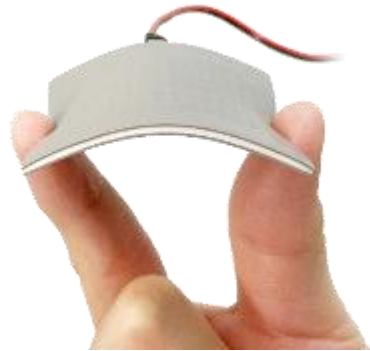
25億円

29億円

'23/3実績

'26/3目標

Ⅱ-7. 第14次三か年中期経営計画 ー機能事業



F-TEMとは？

開発の経緯は？

サーモジュールは、ペルチェ素子、または熱電素子とも呼ばれる半導体の電子部品で、コンパクトなヒートポンプ部品として機能します。

朝日ラバーでは、サーモジュールに使用される素子をゴムで覆うことで、“やわらかく曲げられる”サーモジュールを開発・販売しています。

従来のサーモジュールは固いセラミックスを使用しており、曲げることができませんでした。市場が変化する中で、「曲げることができれば良いのに」というお客様の声を受け、F-TEMの開発が始まりました。

フェローテックマテリアル
テクノロジーズ社

製造

セラミックス製
サーモジュールを製造



販売

朝日ラバー製
F-TEMを販売



販売
特約店
契約

朝日ラバー

製造

F-TEMを製造



販売

FTMT社製
サーモジュールを販売



Ⅱ-7. 第14次三か年中期経営計画 ー通信事業

「基礎基盤を固める」 伝える・伝わる価値でつながる社会に貢献する

「モノ・センサ・通信規格・情報処理アプリケーション」を駆使して
新たな社会価値への取り組みに参画してスマート社会の発展に貢献する



病院

施設内のIoT機器など

環境センシング

発電設備の故障検知など



交通インフラ

保護・施工管理など

環境センシング

農業スマート化など

【連結売上高】

6億円

6億円

'23/3実績

'26/3目標

Ⅱ-8. 第14次三か年中期経営計画 –EX 取り組み

- 人材育成計画に基づく活動
- 労働環境の整備
- 温室効果ガス削減活動
- コンプライアンス実行力を高める

- 従業員の声を聞き反映させていく環境と体制整備
- ワークライフバランスの向上
- 健康、福利厚生活動の充実
- ITを利用した業務改善と働く環境整備

無形資産価値の向上



成長エンジン



- ものづくりの自動化・合理化・省人化
- 内外作政策の促進
- 設計技術、生産技術の強化
- 知的財産力を高める

成長基盤

全社員参加で
「好きのカタチ」を築く



- 地域の方々との交流
- 地域活性化への支援

来たくなる会社

地域と太くつながる

お断り

当資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略などに関する情報は、当資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で行った判断に基づくものです。

しかしながら実際には、通常予測し得ないような特別事情の発生または通常予測し得ないような結果の発生などにより、当資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じ得るリスクを含んでおります。

当社は、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めてまいりますが、当資料記載の業績見通しのみで全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになられるようお願いいたします。

なお、いかなる目的であれ、当資料を無断で複製、または転送などを行われぬようお願いいたします。

当資料についてのお問い合わせ先
株式会社朝日ラバー 管理本部経営企画部
TEL 048-650-6056